



職場体験生受け入れについて

8月30日(水)～9月1日(金)の3日間の日程で、令和5年度夏期職場体験生2名(北海道教育大学岩見沢校生と岩手大学大学院生)を当センターで受け入れました。

職場体験の取組は、学生の就業意欲の育成や森林・林業、国有林野事業への理解を深めてもらうため実施しているものです。

初日(30日)は、センターでのガイダンス(センターの活動内容や標茶町雷別国有林における自然再生の取組みについて説明)後、植栽木調査を午前中に行い、雨模様になってきたため予定を変更し、午後からは、主にカラマツの一大造林地。パイロットフォレストの望楼見学、2日目(31日)は、当センターで長年



▽測桿での立木調査体験の様子



▽夏の学校林活動参加の様子



▽防風保安林見学の様子

お付き合いさせていただいている標茶町立中茶安別小中学校での「夏の学校林活動」に参加していただき、昨日時間の関係で出来なかったパイロットフォレストの紹介DVDの視聴、機材展示庫を研修棟で見てくださいました。

3日目(1日)は、標茶町虹別国有林で防風保安林・間伐・主伐実行箇所及び西別岳登山口等を見学、最後にネイチャーゲーム等を通じての自然体験学習、また、野生生物自動撮影カメラの仕組みなどを受講していただきました。

職場体験生は、当センター職員の説明のもと、各カリキュラムを熱心に受講していました。

今回の受け入れでは、3日間という短期間でしたが中身を充実させた

内容で現地を含めて紹介、体験をしていただけたのではないかと感じております。

職場体験生の感想として、「貴重な体験・経験をさせていただき大変勉強になりました。」「いろんな実務や経験が出来、また、自然の中で自然に触れる仕事をするのは魅力的でした。」等の声があり受講後は、充実された様子でした。

当センターにとっても、学生の皆さんの将来を考える機会を設けている、携わらせていただけることを大変ありがたいと思います。今後、機会があれば進んで実施していきたいと考えております。

雄大に広がる造林地の眺望!

9月12日(火)、京都大学、北海道大学の学生が、厚岸町と標茶町に広がるパイロットフォレスト国有林を見学しました。

これは京都大学と北海道大学が、北海道研究林標茶区(京都大学)及び厚岸臨海実験所(北海道大学)を拠点として、上流の森林と厚岸湖・厚岸湾、そして、これらをつなぐ別寒辺牛川を対象として、森林植生・水生生物・土壌・堆積物等に係る実

習（総称「森里海連環学」）を行っており、その一環として訪れたものです。

まず始めに研修棟で、パイロットフォレスト造成時の様子を記録したDVDを学生の皆さんに視聴してもらいました。

質疑応答の後、若干機械庫を見学し、その後望楼へ移動しカラマツ造林地を眺望しました。当日は、曇り空で霧がありそれほど遠くまでは見えませんが、「霧がかかっていたけど林内が見れて良かった。」等の声があり、広大な森林の風景に感動している様子でした。

パイロットフォレスト案内看板も職員から説明を行い、見学を終えた見学地には向かわれました。



▽望楼からの眺望の様子



▽機械庫見学の様子

企業との協働で植樹を行いました！

9月23日（土）秋分の日、雷別地区自然再生事業地の笹覆い地（標茶町雷別国有林）で、「企業との協働による広葉樹の森林づくり」を行いました。

この活動は、札幌市に支店を置く企業が、社会貢献活動の一環として、平成29年度から当センターと協働し、雷別地区自然再生事業地で行っている自然再生の取組みで、今回で第6回目の開催となります。

当日は快晴に恵まれ、カラッととした爽やかな秋空の下（参加者28名）、雷別地区の郷土樹種である広葉樹（ミズナラ、ヤチダモ、ハルニレ、カツラ）150本を植えました。植栽後、植栽木をエゾシカやエゾユキウサギの食害から保護するため、保護管（ツリーシールド）の被覆を行いました。

まず始めに、企業の代表者から開会のご挨拶をいただき、続いて、当センター所長から遠方より来ていただいたお礼と植樹の意義とSDGsについての話、また企業による社会的貢献活動の感謝を交えて挨拶を行



▽植樹の様子



▽保護管組立の様子

い、その後、参加者は、植樹班と保護管組立班に分かれ、それぞれの班で当センター職員による現地案内などを受けながら森林づくり活動に取り組みました。

経験者が初めての方に指導するなど手際よく作業を進められ、順調に終了することが出来ました。

参加者からは「天候が爽やかで、気持ちよく作業が出来良かった。」「これまでの植樹の成長が現地を見て実感出来た。」「楽しく植樹が出来た。めったに来ることがない森に触れることが出来た。」等の感想をいただき、満足された様子でした。

最後に、会社の支店長が「継続が大事だと考えており、引き続きこの活動を続けていきたい。」との心強い発言をいただきました。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。